

新社長インタビュー

Companies for interviews

● 企業概要 ●

様々な困難を乗り越り 新社長に

有限会社大禪

(法人番号：4290002011533)

商号：有限会社大禪
TDB企業コード：800176795
所在地：福岡市中央区舞鶴3-7-13
代表者：禪院 昭氏
資本金：500万円
電話：092-741-3160
設立：1971年1月
事業内容：貸事務所業
URL：<http://daizenbiru.com>

福岡市・舞鶴にある「大禪ビル」の賃貸を手がける(有)大禪(福岡市中央区)は、2月に役員を改選。禪院滋幸社長が会長に就任するとともに、後任に子息の禪院昭氏が就任した。「新鋭のレトロオフィスビル」をコンセプトに、築45年の大禪ビルのさらなる発展を目指す昭氏に話を聞いた。

―社長就任おめでとうございます。事業承継の難しさが社会的にも注目されるなか、社長を継ぎたいと考えた経緯などを教えてください。

創業者である祖父の禪院昭義は、孫である私に「昭」の一字を与えてくれました。いずれ事業を継いでほしいと考えていたのでしょうか。しかし、前社長である父からは特段、事業を継ぐよう言われた記憶がありません。

在学中、学内外における様々な経験を積み、多くの方と接するなかで企業経営に興味を持ちました。私も若かったですから、軽い気持ちで父に「継がせてほしい」と話したところ「甘い!!」と一蹴されたことは忘れもしません。これを機に親子関係は険悪な状態になりましたね。

卒業後はしばらくITや広告分野を中心に「フリーランス」として活動していました。ビジネススクールの運営やその他複数の案件に携わった後に、2014年9月に父の会社に社員として入社しました。

―親子関係は改善していったのですか？

社内では、決裁者たる経験豊富な社長と、平社員という関係でした。会社を変えていきたい！という思いが先行し、最初はギクシャクしました。親子であるうえ、父は守り、私は攻めのタイプですから、もどかしさもありました。

それでも、取引先やテナント企業に親子間の仲が悪い姿を見せるわけにはいきません。反発心を抑え、やりたいことはきちんと起案して決裁を得、会社を変えていこうと決めました。

その時に、良き相談相手になってもらったのが、顧問税理士でした。税務・会計面の打ち合わせだ

けではなく、家賃の設定方法やホームページ制作といったあらゆる日常業務の相談に乗ってもらい、父の言い分と私の言い分を聞いて「交通整理」をしてくれました。事業承継を円滑に進めるには、会社の内情をよく知るアドバイザーがいると安心ですね。

最も大きく変わったのは、不動産会社との付き合い方ではないでしょうか。入居希望者を募り、案内してくれる大切なパートナーですから、親しみやすさを前面に出し、不動産会社の営業担当者との関係強化を図りました。また、大禪ビルの「良さ」を理解してくれる新たなパートナーの開拓も進めていきました。

間接的に聞いた話ですが、父は懇意の取引先に「息子を頼む」と言っていたそうです。また、別の方からは「継ぎたいと考えている人は多い、でも、継がせたいと思う人は少ない」と話していたと聞きました。改めて自覚が芽生えた瞬間でもあり、父なりの優しさ、懐の深さを感じることができた瞬間でもありました。

―今後の抱負などをお聞かせください。

欧米では、古い建物ほど価値が高まります。新築物件がきれいなのは当たり前で、築45年になるからこそ、知恵を絞り、努力を重ねていかなくては「Old is beautiful」は実現できません。外観やエレベータは歴史を感じさせますが、エントランスや共用部の内装は最近の流行を取り入れたものに改装してきています。

攻め続けてきましたので、少しは守りを覚えたいといけません。そこは、会長になった父から学ぶべき点だと考えています。

―ありがとうございました。



禪院昭社長